

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								2.9
Q1 室内環境			0.40					3.0
1 音環境		2.6	0.15					2.6
1.1 騒音		3.0	0.40					
1.2 遮音		3.0	0.40					
1 開口部遮音性能		3.0	0.60					
2 界壁遮音性能		3.0	0.40					
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)								
4 界床遮音性能(重量衝撃源)								
1.3 吸音		1.0	0.20					
2 温熱環境		2.6	0.35					2.6
2.1 室温制御		3.0	0.50					
1 室温		3.0	0.38					
2 外皮性能		3.0	0.25					
3 ゾーン別制御性		3.0	0.38					
2.2 湿度制御		1.0	0.20					
2.3 空調方式		3.0	0.30					
3 光・視環境		3.5	0.25					3.5
3.1 昼光利用		4.2	0.30					
1 昼光率	3階会議室3.13%以上、4階消防団本部室4.11%以上	5.0	0.60					
2 方位別開口								
3 昼光利用設備		3.0	0.40					
3.2 グレア対策		3.0	0.30					
1 昼光制御		3.0	1.00					
3.3 照度	事務室・会議室等500lx以上	4.0	0.15					
3.4 照明制御		3.0	0.25					
4 空気質環境		3.3	0.25					3.3
4.1 発生源対策		4.0	0.50					
1 化学汚染物質	使用材料は全て、F☆☆☆☆又は規制対象外とする	4.0	1.00					
4.2 換気		3.6	0.30					
1 換気量		3.0	0.33					
2 自然換気性能	自然換気有効開口部が居室床面積の1/15以上	5.0	0.33					
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.33					
4.3 運用管理		1.0	0.20					
1 CO ₂ の監視		-	-					
2 喫煙の制御		1.0	1.00					
Q2 サービス性能			0.30					3.7
1 機能性		3.8	0.40					3.8
1.1 機能性・使いやすさ		3.3	0.40					
1 広さ・収納性		3.0	0.33					
2 高度情報通信設備対応		3.0	0.33					
3 バリアフリー計画	バリアフリー新法の最低限のレベルを満たす	4.0	0.33					
1.2 心理性・快適性		4.3	0.30					
1 広さ感・景観	事務室天井高2.7m、窓設置	4.0	0.33					
2 リフレッシュスペース	執務スペースの1%以上の食堂・厚生室・自動販売機等の設置	5.0	0.33					
3 内装計画	建物全体のコンセプトが明確にある、内観パースの作成	4.0	0.33					
1.3 維持管理		4.0	0.30					
1 維持管理に配慮した設計	防汚性の高い建材の採用	4.0	0.50					
2 維持管理用機能の確保	掃除流しの設置	4.0	0.50					
2 耐用性・信頼性		3.8	0.30					3.8
2.1 耐震・免震		3.8	0.50					
1 耐震性	用途係数=1.25	4.0	0.80					
2 免震・制振性能		3.0	0.20					
2.2 部品・部材の耐用年数		4.0	0.30					
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20					
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	せっき質ニ丁掛タイル40年	5.0	0.20					
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	床:ビニル床シート20年、壁石膏ボード20年、化粧石膏ボード30年	5.0	0.10					
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10					
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	空調・給排水管は上位3種がB以上、Eは不使用	5.0	0.20					
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20					

2.4 信頼性	1	空調・換気設備		3.6	0.20	-	-
	2	給排水・衛生設備		3.0	0.20		
	3	電気設備		3.0	0.20		
	4	機械・配管支持方法	耐震クラスSを採用	5.0	0.20		
	5	通信・情報設備	デジタルパワーアップ設置で災害時の非常放送に対応	4.0	0.20		
3 対応性・更新性				3.4	0.30	-	3.4
3.1 空間のゆとり	1	階高のゆとり	3階事務用途階高4.1m	4.6	0.30	-	-
	2	空間の形状・自由さ	3階壁長さ比率0.22	5.0	0.60		
3.2 荷重のゆとり				4.0	0.40	-	-
3.3 設備の更新性				3.0	0.30	-	-
3.3 設備の更新性	1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-
	2	給排水管の更新性		3.0	0.20		
	3	電気配線の更新性		3.0	0.10		
	4	通信配線の更新性		3.0	0.10		
	5	設備機器の更新性		3.0	0.20		
	6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20		
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30	-	2.2
1 生物環境の保全と創出				1.0	0.30	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮				3.0	0.40	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮				2.5	0.30	-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上				3.0	0.50	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上				2.0	0.50		
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	3.4
LR1 エネルギー				-	0.40	-	3.7
1 建物外皮の熱負荷抑制			BPIm=0.73	4.0	0.20	-	4.0
2 自然エネルギー利用				3.0	0.10		
3 設備システムの高効率化			BEI 非住宅 0.72 住宅(専有部) -	4.0	0.50	-	4.0
集合住宅以外の評価(3a.3b)			BEIm=0.72	4.0	1.00	-	-
集合住宅の評価(3c)				-	-	-	-
4 効率的運用				3.0	0.20	-	3.0
集合住宅以外の評価				3.0	1.00		
4.1 モニタリング				3.0	0.50	-	-
4.2 運用管理体制				3.0	0.50		
集合住宅の評価				-	-	-	-
4.1 モニタリング				-	-	-	-
4.2 運用管理体制				-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	3.2
1 水資源保護				3.4	0.20	-	3.4
1.1 節水			自動水栓に加え、節水型便器の採用	4.0	0.40	-	-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60		
1 雨水利用システム導入の有無				3.0	0.70	-	-
2 雑排水等利用システム導入の有無				3.0	0.30		
2 非再生性資源の使用量削減				3.2	0.60	-	3.2
2.1 材料使用量の削減				2.0	0.10	-	-
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.20		
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			-	3.0	0.20	-	-
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			再生クラッシュヤラン(路盤材)(エコマーク131)	3.0	0.20	-	-
2.5 持続可能な森林から産出された木材				2.0	0.10	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			LGS下地の採用、フリーアクセスフロア、可動間仕切	5.0	0.20	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.3	0.20	-	3.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用			防水工事のプライマー	4.0	0.30	-	-
3.2 フロン・ハロンの回避				3.0	0.70		
1 消火剤				-	-	-	-
2 発泡剤(断熱材等)				3.0	0.50	-	-
3 冷媒				3.0	0.50	-	-
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	3.2
1 地球温暖化への配慮			LCCO2=81%	3.7	0.33	-	3.7
2 地域環境への配慮				3.1	0.33	-	3.1
2.1 大気汚染防止				3.0	0.25	-	-
2.2 温熱環境悪化の改善				3.0	0.50		
2.3 地域インフラへの負荷抑制				3.5	0.25	-	-
1 雨水排水負荷低減				3.0	0.25	-	-
2 汚水処理負荷抑制				3.0	0.25		
3 交通負荷抑制			駐輪、駐車、緊急車両倉庫、消防本部車両倉庫設置、出入り口3か所	5.0	0.25	-	-
4 廃棄物処理負荷抑制				3.0	0.25	-	-
3 周辺環境への配慮				3.0	0.33	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	-
1 騒音				3.0	1.00		
2 振動				-	-		
3 悪臭				-	-	-	-
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				3.0	0.40	-	-
1 風害の抑制				3.0	0.70		
2 砂塵の抑制				-	-		
3 日照障害の抑制				3.0	0.30	-	-
3.3 光害の抑制				3.0	0.20	-	-
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策				3.0	0.70		
2 星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策				3.0	0.30	-	-